

経営比較分析表（平成29年度決算）

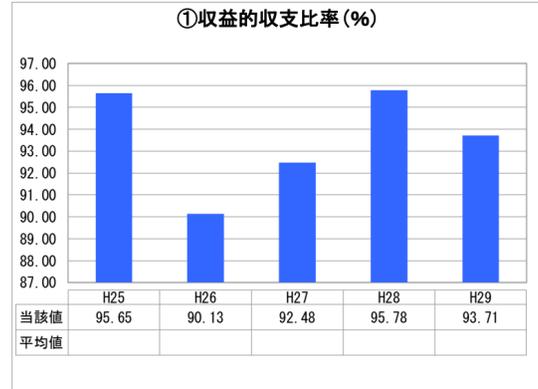
三重県 鳥羽市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	特定環境保全公共下水道	D2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	7.89	90.80	2,160

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
19,239	107.34	179.23
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
1,501	0.53	2,832.08

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【】	平成29年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



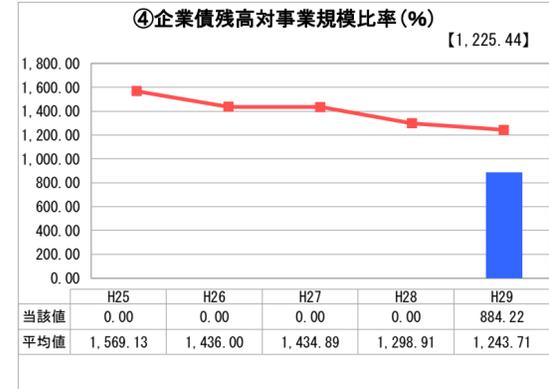
「単年度の収支」



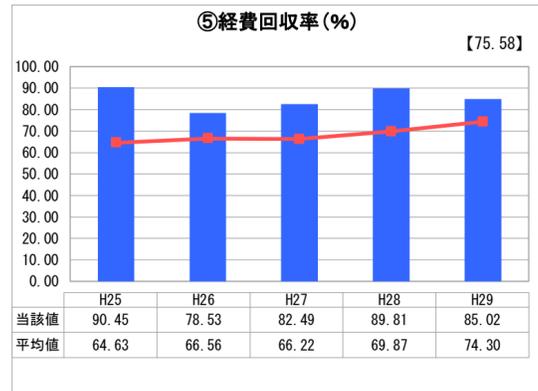
「累積欠損」



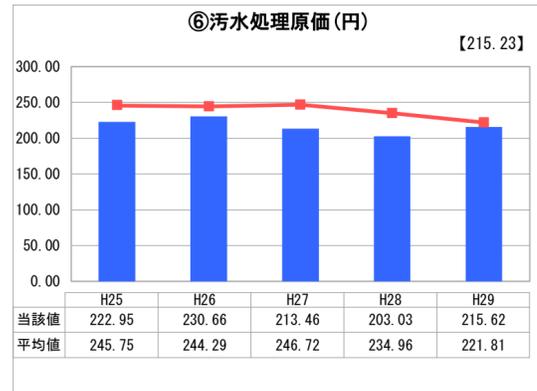
「支払能力」



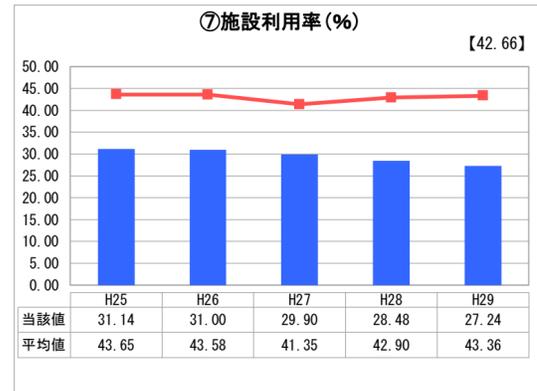
「債務残高」



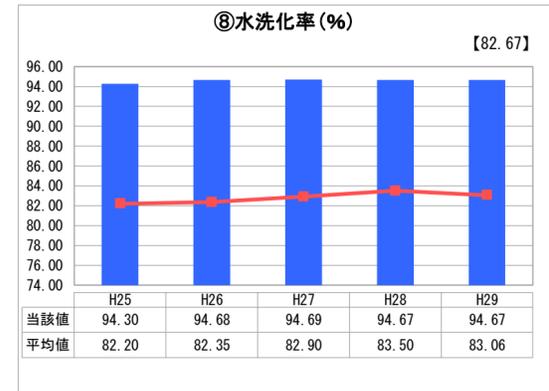
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」



「施設の効率性」



「使用料対象の捕捉」

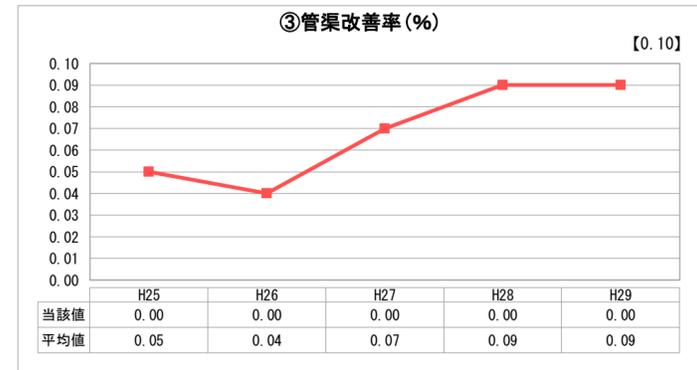
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

収益的収支比率・経費回収率については、下水道使用料で賄い独立採算による経営が基本だと考えますが、使用料のみで運営することは困難な状況であり、一般会計からの繰入金に頼らざるを得ない状況である。

汚水処理原価については、類似団体と比較しても低水準であり、効率的な汚水処理が行われている。施設利用率については、類似団体より低い状況が続いていますが、観光地であり観光シーズンの最大稼働を見込んだ施設となっていることから、効率性については適性の範囲と考えている。

2. 老朽化の状況について

供用開始から21年が経過し、改修等が必要な時期になってきており、老朽化により発生する改修経費も想定した、計画的な老朽化対策に取り組んでいく。

全体総括

人口減少等により、汚水量の減少が見込まれるため、維持管理費の更なる経費削減に努め、経営の健全化を図る必要がある。

また、ストックマネジメント計画を策定し、計画的・効果的な運営を行う。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。
 ※ 平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。